

令和6年度

第44回全九州高等学校空手道新人大会 兼
第44回全国高等学校空手道選抜大会予選会
実施要項

NAGASAKI FUKUOKA

KUMAMOTO SAGA

KAGOSHIMA OITA

OKINAWA MIYAZAKI

KYUSHU KARATE 2024

主催 全日本空手道連盟 九州地区協議会

共催 九州高等学校体育連盟

後援 大分県教育委員会
大分市教育委員会
公益財団法人 大分県スポーツ協会

主管 一般社団法人 大分県空手道連盟
大分県高等学校体育連盟 空手道専門部

令和6年度 第44回全九州高等学校空手道新人大会 兼
第44回全国高等学校空手道選抜大会予選会 実施要項

- 主催 全日本空手道連盟 九州地区協議会
共催 九州高等学校体育連盟
後援 大分県教育委員会、大分市教育委員会、公益財団法人 大分県スポーツ協会
主管 一般社団法人 大分県空手道連盟、大分県高等学校体育連盟空手道専門部

1. 大会期日 令和7年1月18日(土)、19日(日)、20日(月)

2. 大会会場 レゾナック武道スポーツセンター
大分市大字横尾 1351 番地 TEL：097-520-0800

3. 競技種目 (1)男子団体組手5人制 (2)男子団体組手3人制 (3)男子団体形 (4)男子個人形
(5)男子個人組手(−55kg級、−61kg級、−68kg級、−76kg級、+76kg級)
(6)女子団体組手5人制 (7)女子団体組手3人制 (8)女子団体形 (9)女子個人形
(10)女子個人組手(−48kg級、−53kg級、−59kg級、−66kg級、+66kg級)

4. 競技日程 1月18日(土) 諸会議・開会式・競技1日目

8:30~ 9:30	九州専門委員長会議	会議室3
9:45~11:15	審判会議(受付9:00~)	会議室1・2
10:00~13:00	選手監督受付	正面玄関
11:30~12:00	監督会議	武道場 道場1
12:15~12:45	開会式	メイン競技場
13:15~	競技	メイン競技場

1月19日(日) 競技2日目
9:00~ 競技 メイン競技場

1月20日(月) 競技3日目・閉会式
9:00~ 競技 メイン競技場
16:15~ 閉会式 メイン競技場

階級表

階級については表のようになるので間違えないようにすること。ただし、着衣分として0.5kgと計測器測定幅として±0.5kgを考慮した、当日の測定幅を下記のように定める。

男子個人組手		女子個人組手	
−55kg級	56.0kg未満	−48kg級	49.0kg未満
−61kg級	55.0kg以上 62.0kg未満	−53kg級	48.0kg以上 54.0kg未満
−68kg級	61.0kg以上 69.0kg未満	−59kg級	53.0kg以上 60.0kg未満
−76kg級	68.0kg以上 77.0kg未満	−66kg級	59.0kg以上 67.0kg未満
+76kg級	76.0kg以上	+66kg級	66.0kg以上

計量について 男女個人組手に出場する全ての選手は、計量時間内に計量を受け、参加資格の確認を受けなければならない。

実施日時 1月18日(土) 10:00~12:00(この時間帯であれば何度でも計量可)

実施場所 レゾナック武道スポーツセンター 男子：【男性更衣室A】女子：【女性更衣室A】

服装 計量の服装は、男女ともに上衣はTシャツ、下衣はスパッツ(ハーフサイズ)とする。包帯・サポーター等の着用は一切認めない。

棄権 この時間で計量を受けない場合や、あらかじめ届け出た階級の体重区分に適していない選

手は棄権となり、個人組手出場の権利を失う。体重区分に適していないというのは、規定体重を超えた場合だけでなく、規定体重に達していない場合も含む。(当日は、大会審判員が計量をおこなう。)

減量指導 試合に出場を希望する選手は、発育・発達過程にある高校生であることを考慮し、無理な減量を行ってはならない。 ⇒ (公財)全国高体連空手道専門部広報 Website 参照

5. 競技規定

全日本空手道連盟制定の競技規定(2023年度版)に準じて行い、運用については全国高等学校体育連盟空手道専門部の申し合わせ事項による。

※安全具・空手道衣について

(1) 組手競技では男子5点、女子4点の安全具を着用すること。

① ニューメンホーⅥ・Ⅶ(全空連検定のもの) ※令和7年度からはタイプⅦのみ

② 拳サポーター(高体連指定のもの)

③ ボディープロテクター(高体連指定のもの)

④ シンガード・インステップガード(高体連指定のもの)

⑤ セーフティーカップ[男子のみ]…空手道衣の下に着用すること。

(2) 空手道衣については全国高体連空手道専門部の申し合わせ事項による。特に、道衣の上下に高体連ラベルが縫い付けてあるかを確認すること。

(3) 競技では赤青の帯を使用するので各学校で準備する。赤青帯には全空連検定ラベルと高体連指定ラベルの両方が貼ってあること。

(4) 都道府県・地区大会用のゼッケン(背面)は、外れることがないように四辺をしっかりと縫い付けること。

6. 競技方法

(1) 団体競技 《組手競技》 ① 学校対抗とする。
② 組手競技はトーナメント方式とする。
③ 1・2回戦は大將戦まで試合を行うが、3回戦以降は勝敗が決まった段階で試合を終了する。

《形競技》 ④ 形競技は得点方式とする。
⑤ 南北ブロック各8校(名)ずつの2グループに分け、3ラウンド制で行う。
⑥ 第1ラウンドで上位4校(名)を残し、第2ラウンドはその4校(名)が演武を行う。
なお、演武順は抽選をする。

⑦ 第2ラウンドの各グループ1位同士が「決勝戦」、2位と3位が「3位決定戦①」、「3位決定戦②」を行う。

※「3位決定戦」で勝った2校(名)のうち1位に負けた方が3位、2位に負けた方が4位として全国選抜大会の申し込み際の順位となる。(表彰はどちらも3位)

⑧ 演武形について

ア 第1ラウンドは指定形とし、第2ラウンド以降は得意形とする。また、メダルマッチはそれまでに演じた以外の指定形および得意形とする。指定形および得意形は空手競技規定(JKF2023年度版)の「付録4・指定形リスト」並びに「付録5・得意形リスト」から選択しなければならない。

イ 再演武について

第1、第2ラウンドにおいて同点による再演武を行う場合は、そのラウンドで演武した形と異なる形を演武すること。

ウ メダルマッチにおいて同点(再演武)となった場合、メダルマッチにおいて演武した形も使用できる。

⑨ 団体形競技の決勝戦において、形の分解を行う。

(2) 個人競技

《組手競技》 ⑩ (1)団体競技の①・②に同じ。
⑪ フリー枠選手選出方法(p.6)を参照する。

《形競技》 ⑫ (1)団体競技の④～⑧に同じ。

⑬ メダルマッチにおいて同点(再演武)となった場合、メダルマッチまでに演武した3つの形は使用できない。

(3) 代表決定戦

《団体組手競技》

- ⑭ 準々決勝で敗れた学校を対象としてトーナメント方式で行う。
ア 団体組手競技は勝敗が決まった段階で試合を終了する。
イ 組み合わせは本戦のパートを使用する。

《形競技》

- ⑮ 形競技においては、得点の高い学校（選手）を5位とする。

(4) 形競技における同点の場合の規定

- ⑯ 演武する形については、それまでに演武した形でも良いし、変更しても良い。
- ⑰ 演武する形は指定形および得意形とする。
- ⑱ 順位決定戦で同点となった場合は、5位決定戦で演武していない指定形または得意形を演武しなければならない。

7. 引率・監督

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。
- (2) 監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は障害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。ただし、(1)(2)について各県における規定が定められ、引率・監督がこの規定により限定された範囲内であれば、その規定に従うことを条件とする。なお、監督は(公財)全日本空手道連盟会員登録者であることとする。
- (3) 今大会は、競技の進行を考慮し、1回戦からスーツ着用とする。スーツはダークスーツとし、ネクタイは審判員とは異なるものを着用する。女性はスラックスでもスカートでも良く、ネクタイを着用しなくてもよい。シューズの底は体育館フロアを傷つけないゴム製や布製のものとする。
- (4) 原則として、監督と審判員を兼ねることはできない。

8. 参加資格

- (1) 参加者は各県空手道連盟および各県高体連に加盟している生徒で、当該競技実施要項により、全九州高等学校空手道新人大会の参加資格を得た者。
- (2) 2024年度の(公財)全日本空手道連盟に会員登録を完了した者。
- (3) 1・2年生のチームとする。年齢については平成19年(2007)4月2日以降に生まれた者で19歳未満の者とする。ただし、同一学年での出場は1回限りとする。特例として、年齢制限について中国等帰国生徒には適用しない。
- (4) チームの編成にあたって、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 転校後6ヶ月未満の者の参加は認めない。ただし、一家転住等のやむを得ない場合は各県空手道連盟会長及び各県高体連会長の認可があればこの限りではない。
- (6) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。

9. 参加制限

各県の参加数及びチーム編成は下表の通りとする。

競技種目	各県参加数	チーム編成			
		監督	選手	補欠	合計
男子団体組手(5人制)	4チーム	1	5	3	9
女子団体組手(5人制)	4チーム	1	5	3	9
男子団体組手(3人制)	2チーム	1	3	1	5
女子団体組手(3人制)	2チーム	1	3	1	5
男子団体形	4チーム	1	3	3	7
女子団体形	4チーム	1	3	3	7
男子個人組手	8名(階級は各県にて一任)				
女子個人組手	8名(階級は各県にて一任)				
男子個人形	4名				
女子個人形	4名				

令和6年度から団体組手(3人制)の各県参加数を2チームとする。

10. 参加申込

- (1) 出場校申込責任者は以下のファイルを指定する送信先へ提出(送信)すること。
 ※令和6年7月の九州競技大会の申込手続き変更に合わせて、今回から変更しています。

① 参加申込書	1) 校長決裁を受けた内容が入力済みのExcelファイル 2) 上記手続きを終え、校長職印を押印した原本をPDF処理したPDFファイル ※ファイル名はExcel、PDFともに 県名【学校名】参加申込書 例) 大分【日田】参加申込書とすること。 ※原本は大会に持参し、提示を求められたら提出できるようにしておくこと。
② 宿泊・弁当申込書	3) 入力完了したExcelファイル ※ファイル名は 県名【学校名】宿泊申込書 例) 大分【日田】宿泊申込書とすること。

【送信先】 所属県高体連空手道専門部 送信期限と合わせて各県で指示

- (2) 各県専門部は県予選大会終了後、以下のファイルを大会事務局に提出(送信)すること。

① 出場校出場選手一覧表	各県予選大会終了後 至急大会事務局(水江)へ データで送信すること。
② 審判員名簿	
③ 出場校 参加負担金一覧表	
④ 男子・女子個人組手出場選手顔写真一覧表	

また、上記(1)の参加申込書、宿泊申込書を県ごとに取りまとめて、下記大会事務局へ送信
 【送信期限】 令和6年12月5日(木) 18:00

(3) 大会事務局

大分県高等学校体育連盟空手道専門部
 専門委員長 水江友和 (大分県立日田高等学校)
 E-mail: mizue-tomokazu@oen.ed.jp
 ※お問い合わせの際は、メールでお願いいたします。
 日田高校への電話は通常業務の妨げとなりますので、お控えください。

11. 参加負担金 (1) 団体 1 チーム 1 種目 20,000 円 個人 1 人 1 種目 2,000 円
 なお、団体種目出場者も個人種目に出場する場合は個人の参加負担金を必要とする。
 (2) 参加負担金は各県高体連空手道専門部が取りまとめ、大会事務局指定口座に振り込むこと。誤った振込を避けるため、大会事務局口座は専門委員長のみに知らせる。
 参加校からの納入方法は各県専門部で振込先や期限等を指示する。
12. 組合せ 大会組合せは主管において行う。
13. 表彰 各種目、第3位までを表彰とする。
14. 宿泊 (1) 参加者の宿舎は大会事務局の指定宿舎とする。宿舎の割当は、大会事務局が行う。
 (2) 宿泊申込規約に関しては、別紙「宿泊・弁当お申込み要項」に基づく。
 (3) 宿泊決定後の宿泊人数変更等については、宿泊手配業者(T E A M)に連絡して対応すること。

- (4) 宿泊手配業者(Team)の連絡先等については、宿泊・弁当お申込み要項に記載の通り。
 (5) 「宿泊・弁当申込書」は、参加申込書と合わせて、各県専門部へ送信すること。
 (6) 宿泊代金 1人 1泊 2食付 10,000円 1泊朝食付 8,500円 1泊素泊 8,000円
 (7) 弁当 1個 864円 (お茶付き・税込)

15. 連絡事項
- (1) 競技大会中は疾病障害等の応急処置は、主管にて行う。
 - (2) 参加選手は、健康保険証を持参すること。
 - (3) 参加選手は、空手道衣左胸に学校名、左袖に県名を、黒字で明記すること。
ただし、スクールカラーは認める。
 - (4) 服装、試合応援態度等、マナーの向上を図るべく、部員・観客を含めて各校での事前の指導を徹底すること。
 - (5) この大会は全国選抜大会予選としての九州北ブロック・九州南ブロック予選会を兼ねて実施する。競技は、T1・T2で「北ブロック」、T3・T4で「南ブロック」それぞれの大会を実施し、全国選抜大会出場校ならびに出場選手を決定する。
 - (6) 全国選抜大会における「夢・きぼう枠」について
 - ① 団体種目において、各ブロックから1校推薦することができる。ただし、過去5年間で同種目に出場した学校は除く。
 - ② 推薦を希望する学校の顧問は所定の様式により、自校推薦書類を各県専門委員長に提出する。
 - ③ 各専門委員長は推薦文をPDF化して、九州高体連専門委員長に送付する。
 - ④ 各県各校から提出された推薦文を全国常任委員会で検討し、各ブロック推薦の1校を選定する。
 - ⑤ 全国9ブロックから推薦された高等学校(最大18校)のうち、全国常任委員会で選出された2校が全国選抜大会に出場できる。
 ※夢・きぼう枠の詳細については、各県専門委員長に確認すること。

全国選抜大会 「九州北ブロック・九州南ブロック」 出場数

種目 ブロック	団体形		団体組手 (5人制)		団体組手 (3人制)		個人形		個人組手			
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子		女子	
北ブロック 福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県	5	5	5	4	1	1	6	5	7	-55kg:1 -61kg:1 -68kg:1 -76kg:1 +76kg:1 2枠フリー	7	-48kg:1 -53kg:1 -59kg:1 -66kg:1 +66kg:1 2枠フリー
南ブロック 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県	5	5	5	5	1	1	5	5	6	-55kg:1 -61kg:1 -68kg:1 -76kg:1 +76kg:1 1枠フリー	6	-48kg:1 -53kg:1 -59kg:1 -66kg:1 +66kg:1 1枠フリー

※R5年度より追加となった女子+66kg級については選手の有無に関わらず1枠分として換算する。
 したがって、+66kg級にエントリーがない場合、1枠を他階級に割り当てることはできない。

個人組手 フリー枠（全国選抜大会出場枠）選手選出方法

北ブロック男子

- ① -55kg 級・-61kg 級・-68kg 級・-76kg 級・+76kg 級（以下各階級と称する）の1位の選手に、全国選抜大会への出場権を与える。
- ② 各階級2位の選手(5名)でトーナメント戦を行い、上位2名の選手に全国選抜大会の出場権を与える。

北ブロック女子

- ① -48kg 級・-53kg 級・-59kg 級・-66kg 級・+66kg 級（以下各階級と称する）の1位の選手に、全国選抜大会への出場権を与える。
- ② 各階級2位の選手(5名)でトーナメント戦を行い、上位2名の選手に全国選抜大会の出場権を与える。

南ブロック男子

- ① -55kg 級・-61kg 級・-68kg 級・-76kg 級・+76kg 級（以下各階級と称する）の1位の選手に、全国選抜大会への出場権を与える。
- ② 各階級2位の選手(5名)でトーナメント戦を行い、上位1名の選手に全国選抜大会の出場権を与える。

南ブロック女子

- ① -48kg 級・-53kg 級・-59kg 級・-66kg 級・+66kg 級（以下各階級と称する）の1位の選手に、全国選抜大会への出場権を与える。
- ② 各階級2位の選手(5名)でトーナメント戦を行い、上位1名の選手に全国選抜大会の出場権を与える。

各ブロック共通

各階級2位の選手によるトーナメント組み合わせについては、当日フリー抽選にて決定する。